

2014年07月27日 19:10

水上スポーツを楽しむ夏の恒例イベント、ウオーター・フェスタが27日、香取市内を流れる黒部川で行われた。障害者と入所施設の関係者の他、地元の中学、高校生ボランティアも参加。川風を受けながらスピード感あふれるボートなどを楽しんだり、出し物を通じて互いの交流を深めた。

イベントは今年で14回目。同市・小見川を拠点に活動する地元の水上スキークラブが毎年、水上バイクやボートなどの水上スポーツを通じて障害者らにも水辺の自然を身近に感じてもらおうと開催している。

クラブの小山田富行会長（64）は「イベントを通じて障害者と健常者が交流できるような場になればいい」と思いを語った。

初めてボランティアに参加した県立小見川高3年の黒野真由さん（17）は「障害者にライフジャケットを着せてあげたりなど、大変さもあるがやりがいを感じる」。市立小見川中2年の越川真衣さん（14）は「昨年も参加したが、にぎやかでいいイベント。障害のある人と一緒に空き缶でマラカスを作ったりした。この機会を通して、もっと仲良くなれば」と話した。



ボートの試乗体験では参加者が水上での体験を楽しんだ＝27日、香取市の黒部川